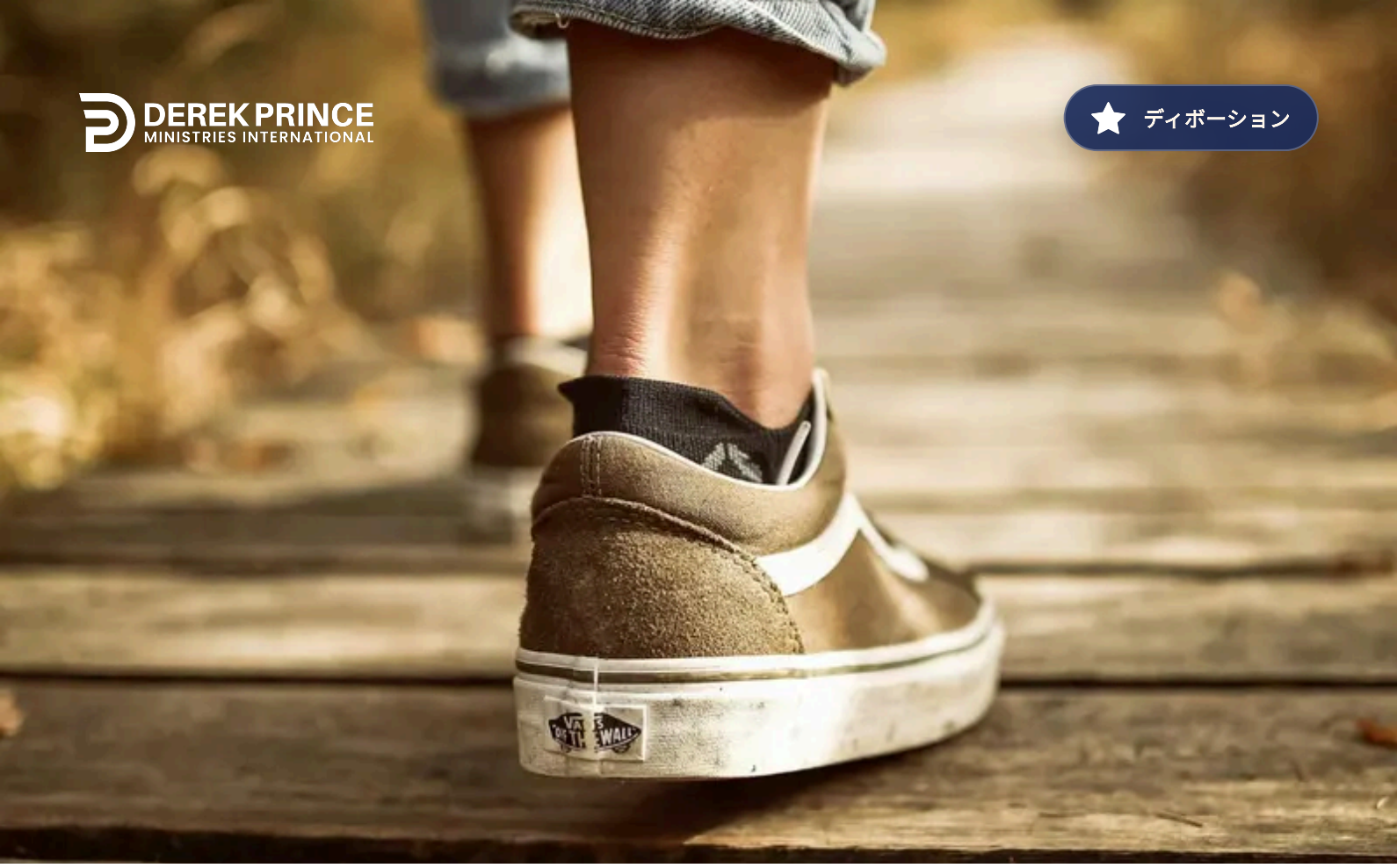


DEREK PRINCE MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

御霊に導かれる

私は子としての霊を受け、その霊によって「アバ、父よ」と叫びます。



日 1970/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

神の子どもと認められるためには、超霊的でなければならない、といった教えが流行しています。しかし、パウロはローマ人への手紙８章でこの考え方を否定し、神の御霊に導かれている人はみな、神の子どもであると書いています（ローマ８：１４）。ある意味、すでに完全であるなら、聖霊は必要ありません。しかし、あなたが完全になるためには、聖霊が必要なのです。

神の本当の息子、娘として生きる方法は、いつも聖霊に導かれることです。イエスはこう言われました。

> 「わたしの羊たちはわたしの声を聞き分けます。・・・彼らはわたしについて来ます」（ヨハネ１０：２７）。

イエスが言っている「聞く」とは、いつも聞くこと、いつも従うことを意味しています。これは変動的なものや、週一回行うものではなく、変わることのない継続的な関係です。

ローマ人への手紙８章１５節で、パウロはこう続けています。

> 「あなたがたは、人を再び恐怖に陥れる、奴隷の霊を受けたのではなく、子とする御霊を受けたのです。この御霊によって、私たちは「アバ、父」と叫びます。」

「奴隷の霊」とは、簡単に言えば、律法です。あなたは、律法に縛られるのではなく、神の子どもとしてのアイデンティティを保証してくださる神の御霊を受けたのです。神の子どもとして、あなたは相続のすべての権利を持っています。パウロは私たちにこう保証しています。

> 「御霊ご自身が私たちの[再生された]霊とともに証しをし、私たちが神の子であることを示しています。そして、子であるならば、相続人です[相続は主題です]；神の相続人であり、キリストの共同相続人です」（16–17節）

多くの人々は、聖霊のバプテスマを受けた時に初めて、神の子どもである確信を得ることができます。聖霊は、私たちが神の子どもであり、相続の法的権利を持っていることを保証するために、私たちの中に来てくださるのです。私たちは単に生まれ

ただけではなく、子どもとされており、この聖句は、子とされることと、相続を明確に結びつけています。

父よ、私があなたの子どもであることを感謝します。私は、相続のすべての権利を持った神の子どもであると宣言します。私は子とする御霊を受けました。この御霊によって、私は「アバ、父」と叫びます。アーメン。

ディボーション ★
原稿: WD-B097-262-JPN
最終更新日: 05 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

